

経鼻栄養チューブ挿入時の位置 確認についての調査報告

医療安全全国共同行動

目標3a 危険手技の安全な実施 経鼻栄養チューブ班

○杉本こずえ 山元恵子 藤森啓成 坂口美佐

風間敏子 須田喜代美 寺見雅子

目 的

本研究は、医療機関における経鼻栄養チューブ（以下、チューブとする）挿入時の位置の確認方法の現状を明らかにし、チューブ誤挿入事故を防ぐための基礎的研究とする。

方法①

対象：

医療安全全国共同行動で企画した
「経鼻栄養チューブの挿入と管理」DVD
教材配布時、同封した質問紙への回答
が得られた269施設。

方法②

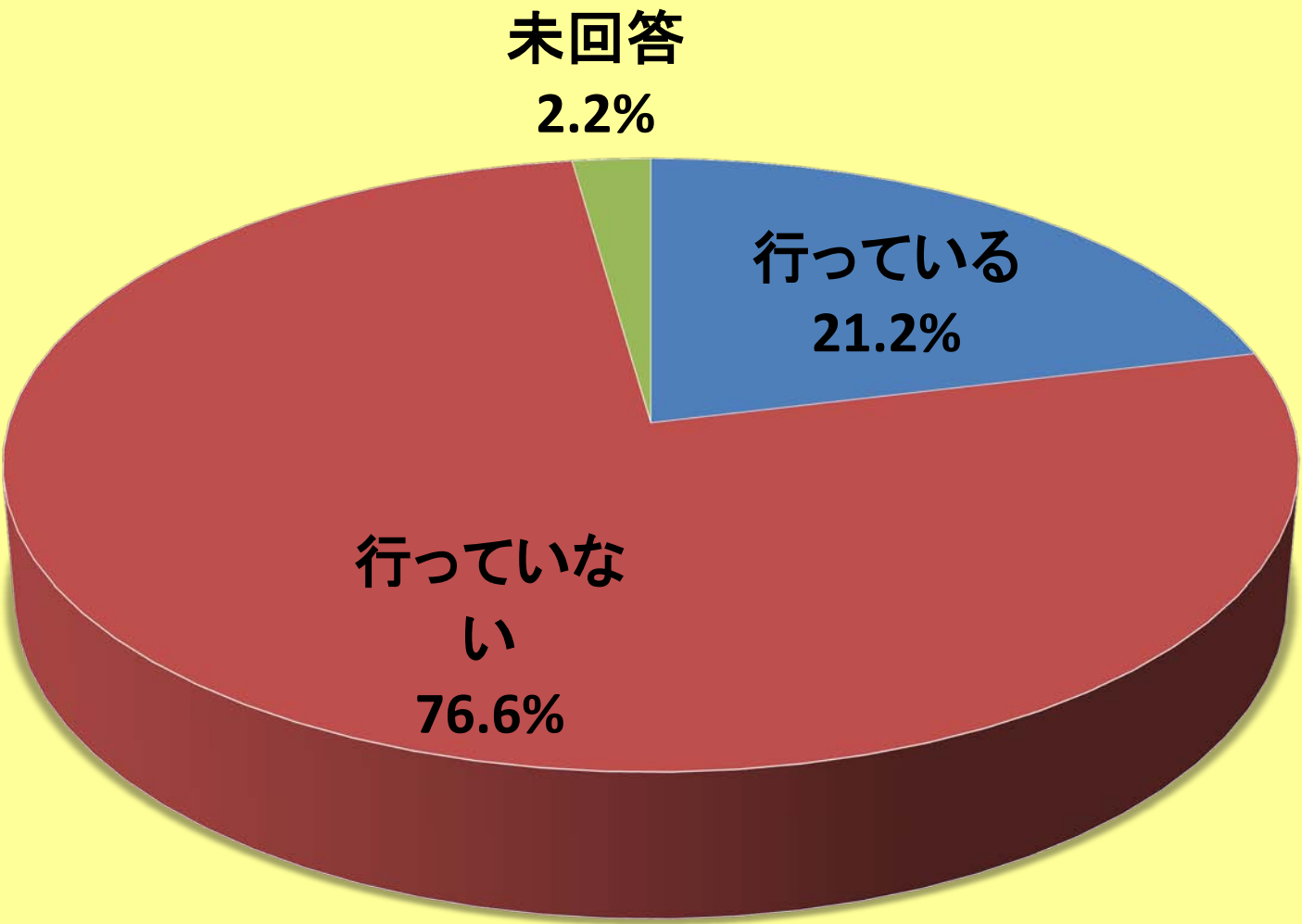
調査内容：

1. 患者のリスク分類の有無
2. チューブ挿入時の位置の確認方法
3. チューブ挿入のマニュアルの有無
4. チューブ挿入時の記録
5. チューブ挿入のトラブルや事故の経験の有無
6. チューブ挿入者
7. 患者・家族への承諾書の有無

結果1

患者のリスク分類

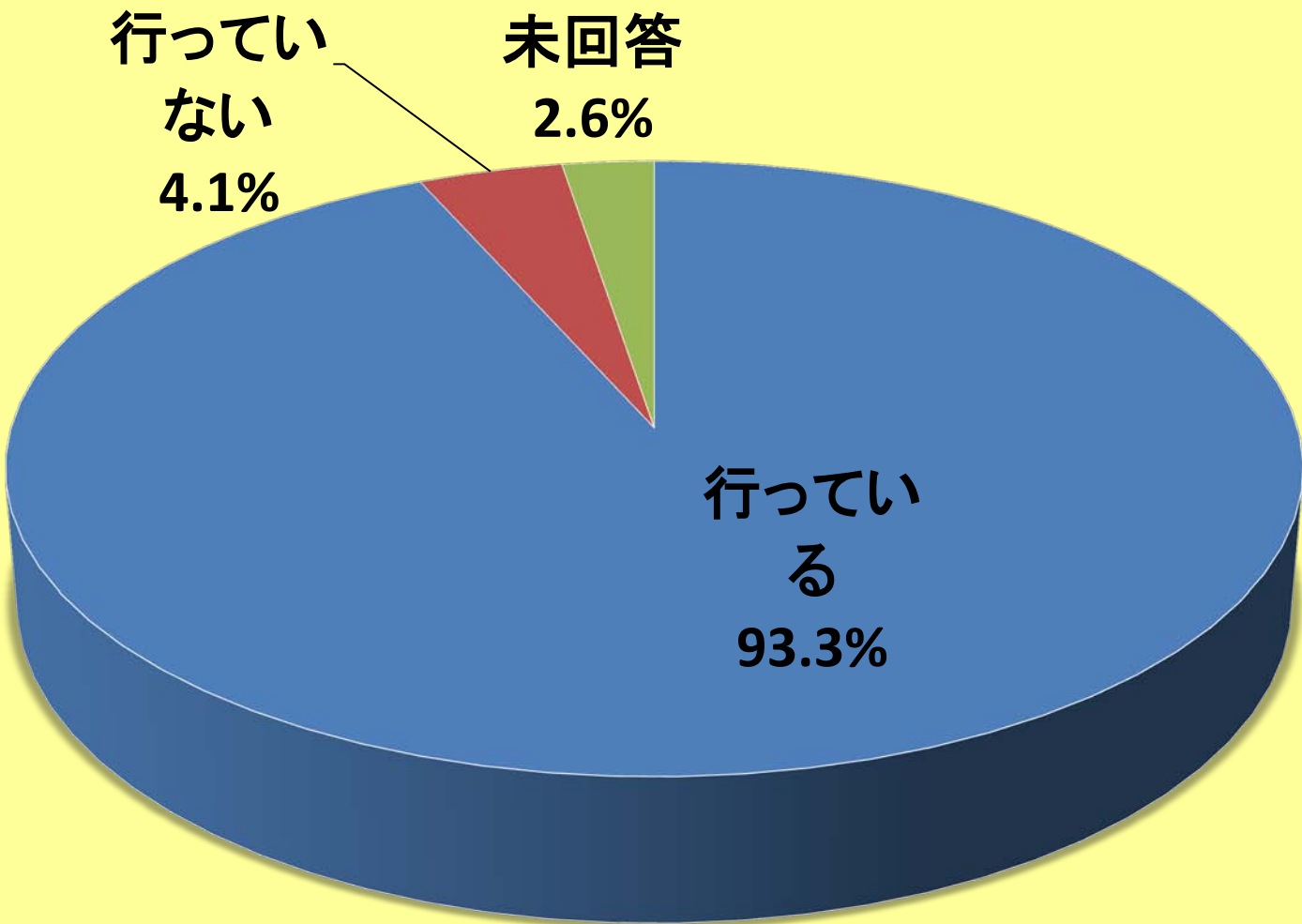
N=269	実数	比率
行っている	57	21.2%
行っていない	206	76.6%
未回答	6	2.2%



結果2ー①

チューブ挿入時の位置の確認方法：吸引液の観察

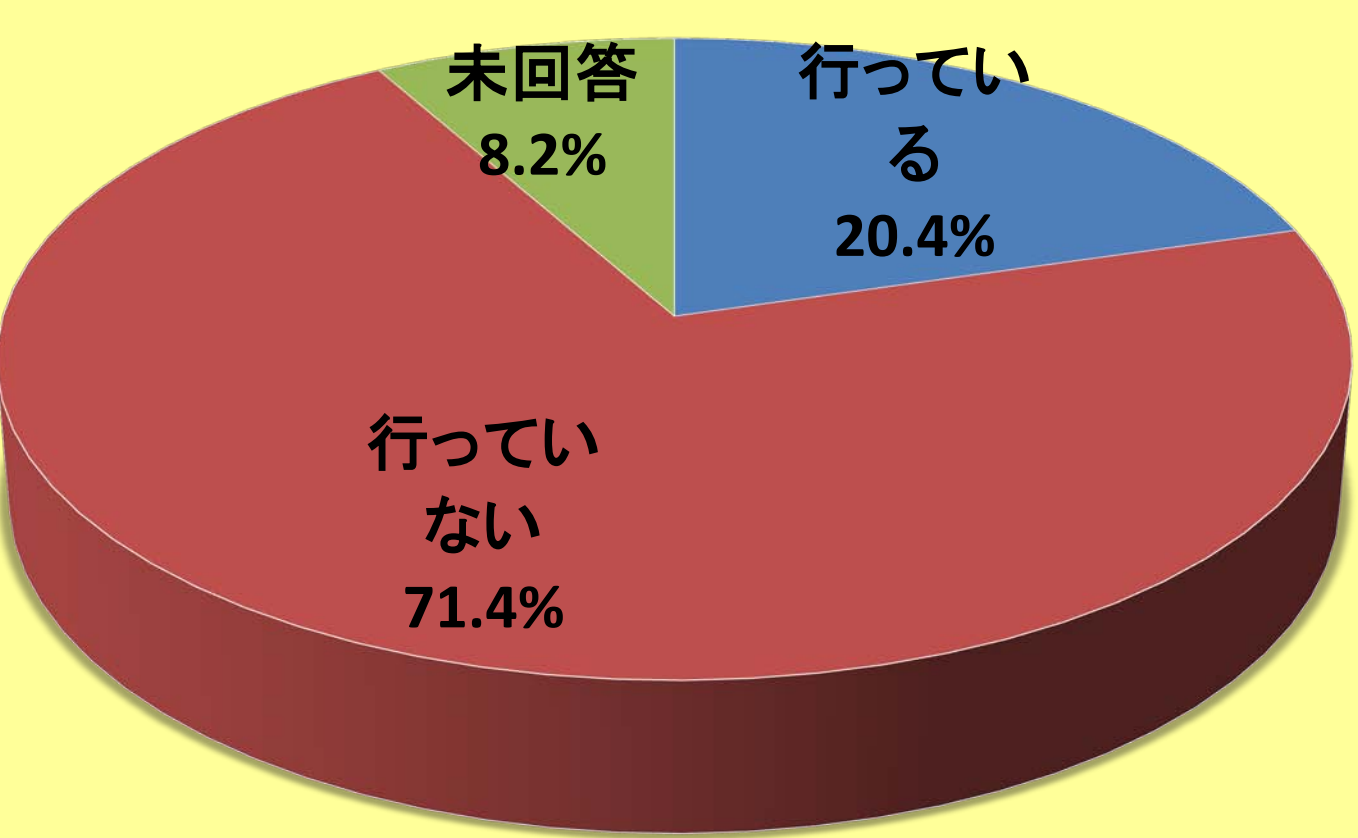
N=269	実数	比率
行っている	251	93.3%
行っていない	11	4.1%
未回答	7	2.6%



結果2ー②

チューブ挿入時の位置の確認
方法：吸引液のpH確認

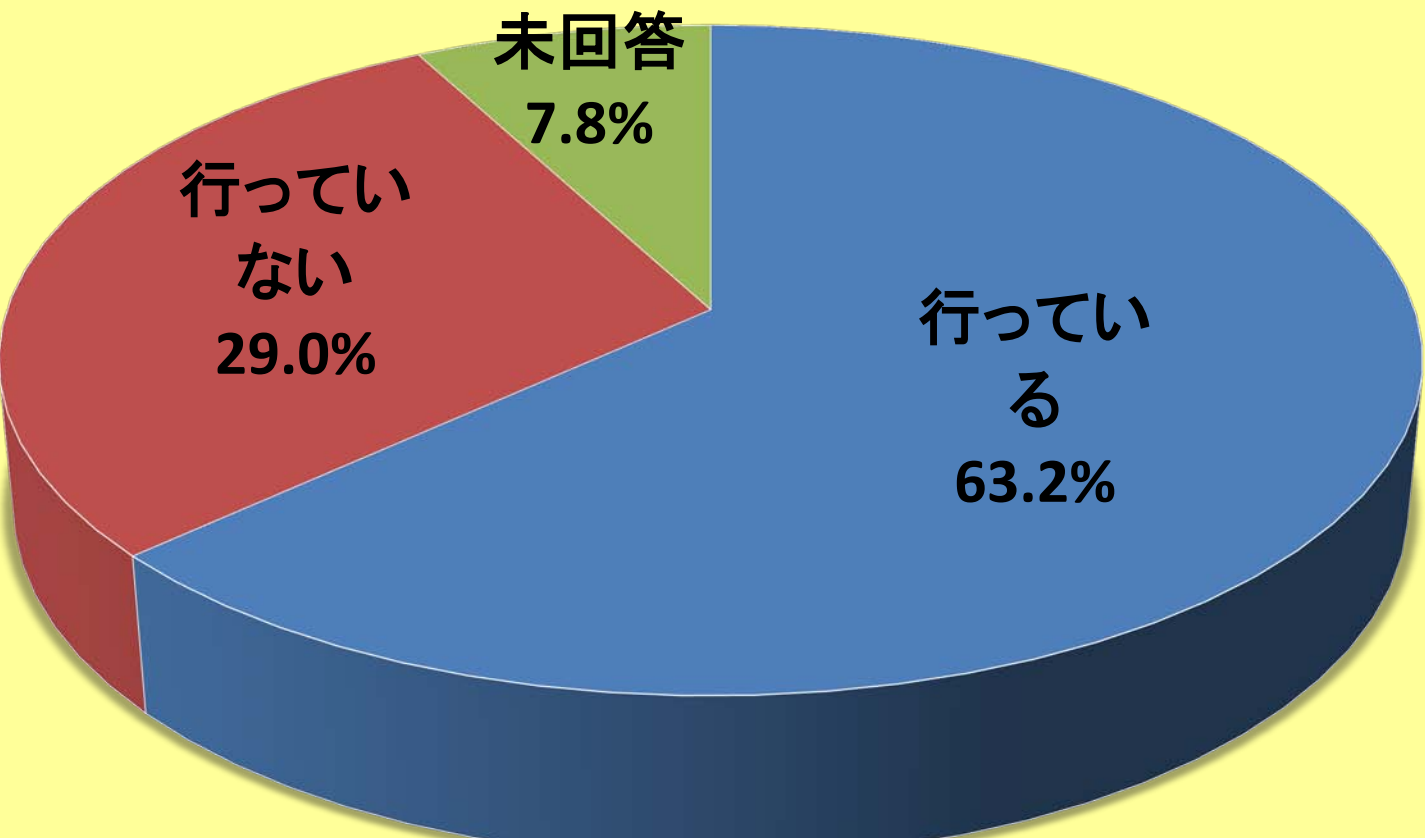
N=269	実数	比率
行っている	55	20.4%
行っていない	192	71.4%
未回答	22	8.2%



結果2ー③

チューブ挿入時の位置の確認
方法：レントゲン撮影

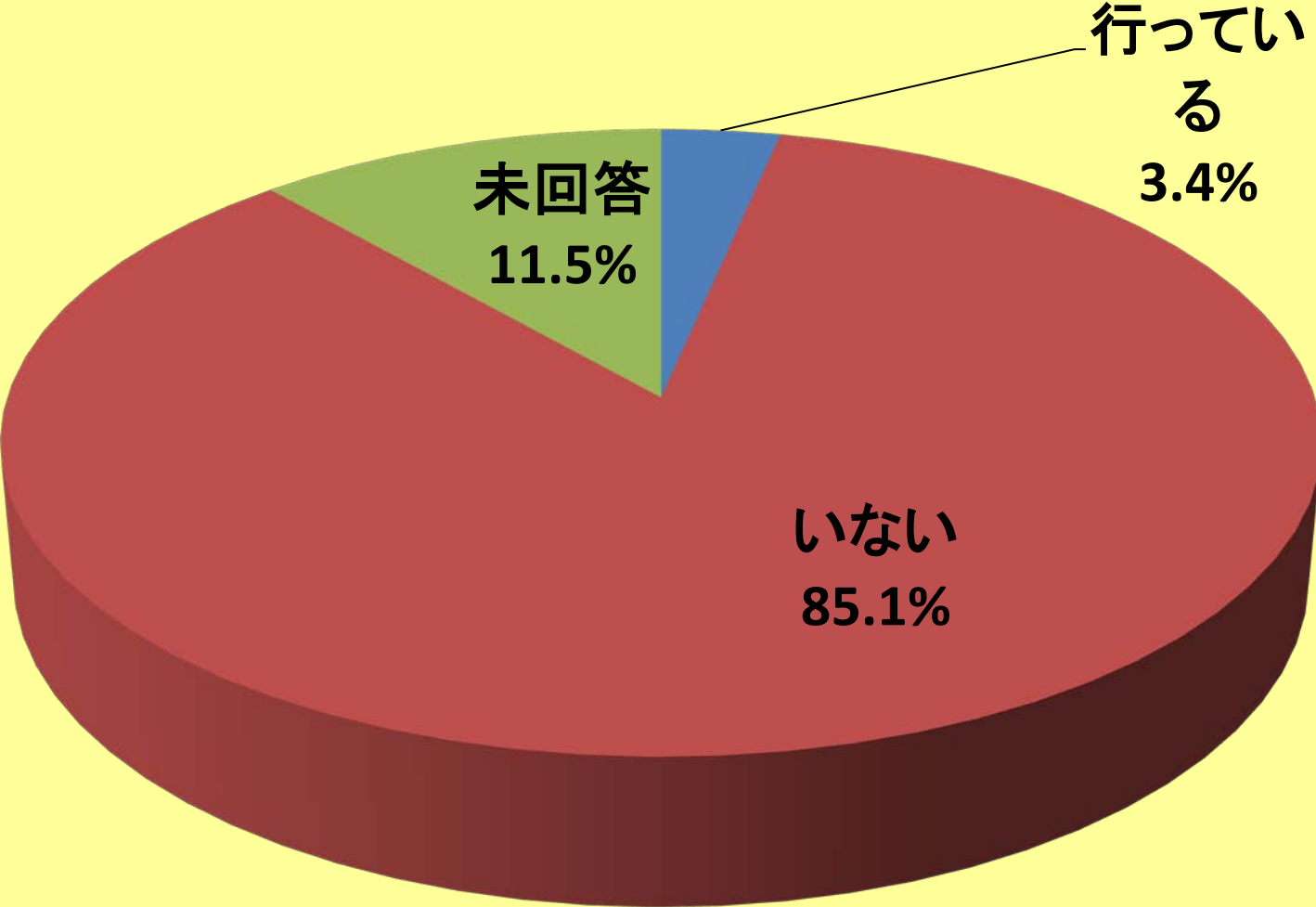
N=269	実数	比率
行っている	170	63.2%
行っていない	78	29.0%
未回答	21	7.8%



結果2ー④

チューブ挿入時の位置の確認
方法:CO₂検知器による確認

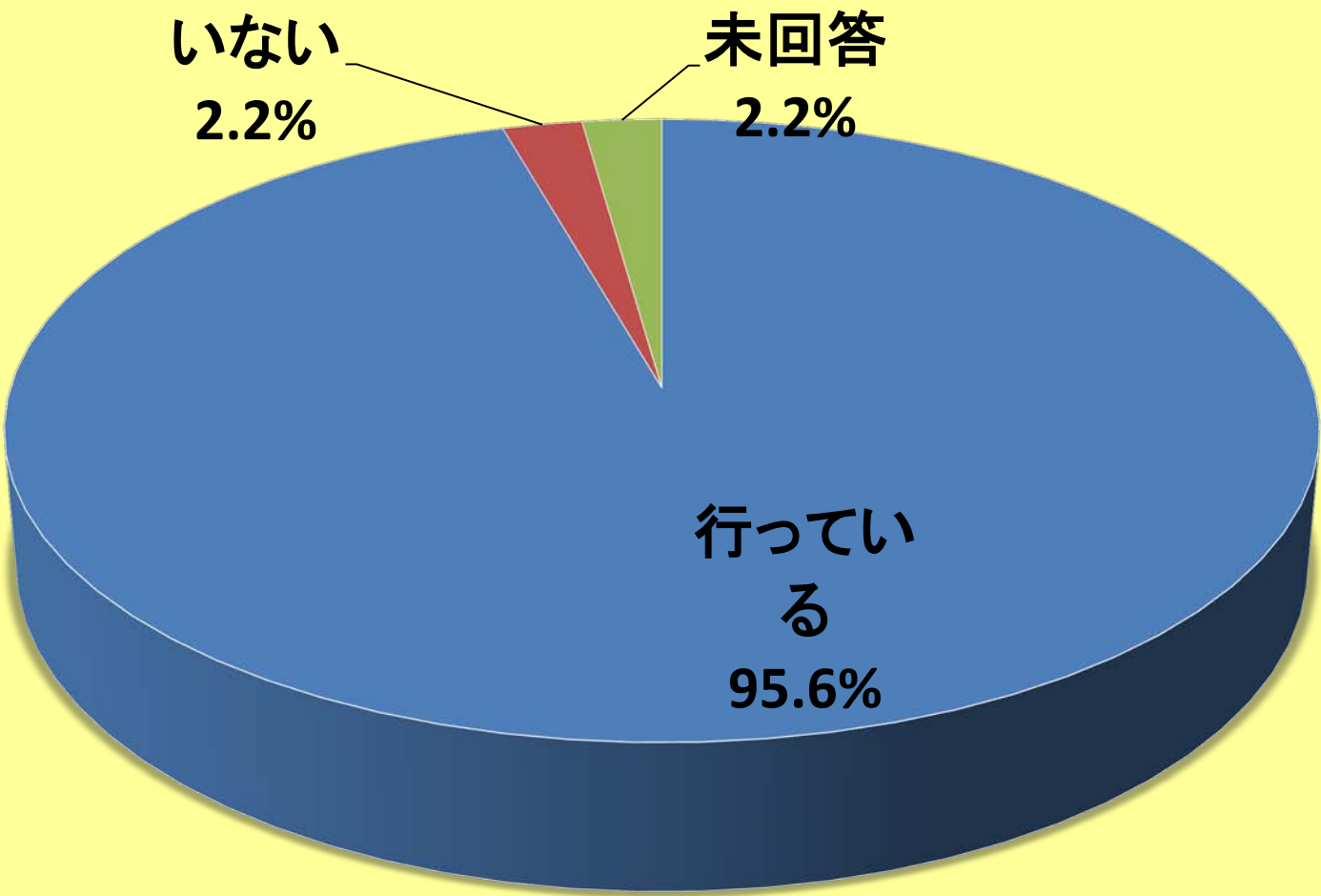
N=269	実数	比率
行っている	9	3.4%
いない	229	85.1%
未回答	31	11.5%



結果2ー⑤

チューブ挿入時の位置の確認
方法:聴診による気泡音の確認

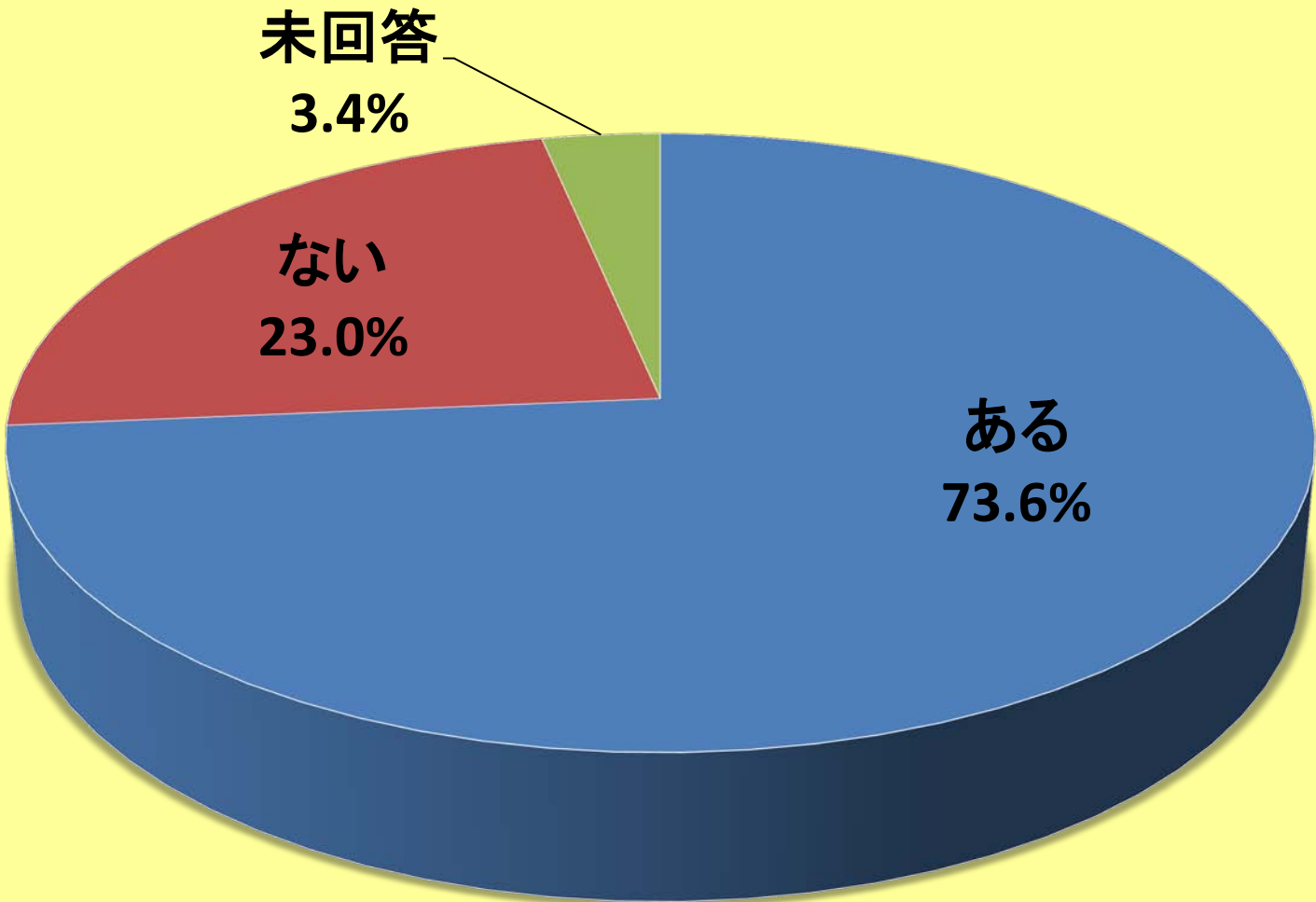
N=269	実数	比率
行っている	257	95.6%
いない	6	2.2%
未回答	6	2.2%



結果3

チューブ挿入マニュアルの有無

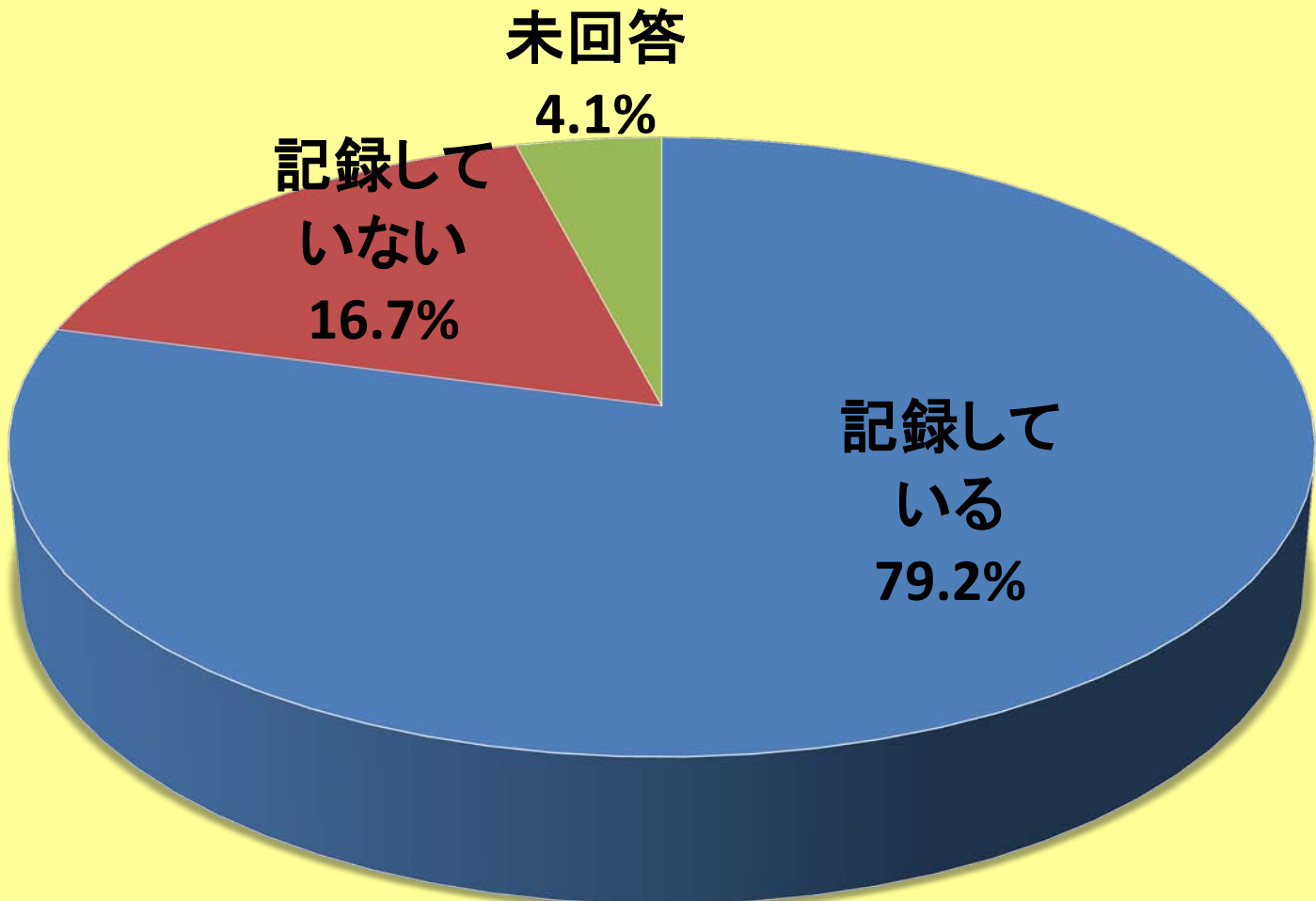
N=269	実数	比率
ある	198	73.6%
ない	62	23.0%
未回答	9	3.4%



結果4ー①

チューブ挿入時に記録をしている内容:チューブの種類

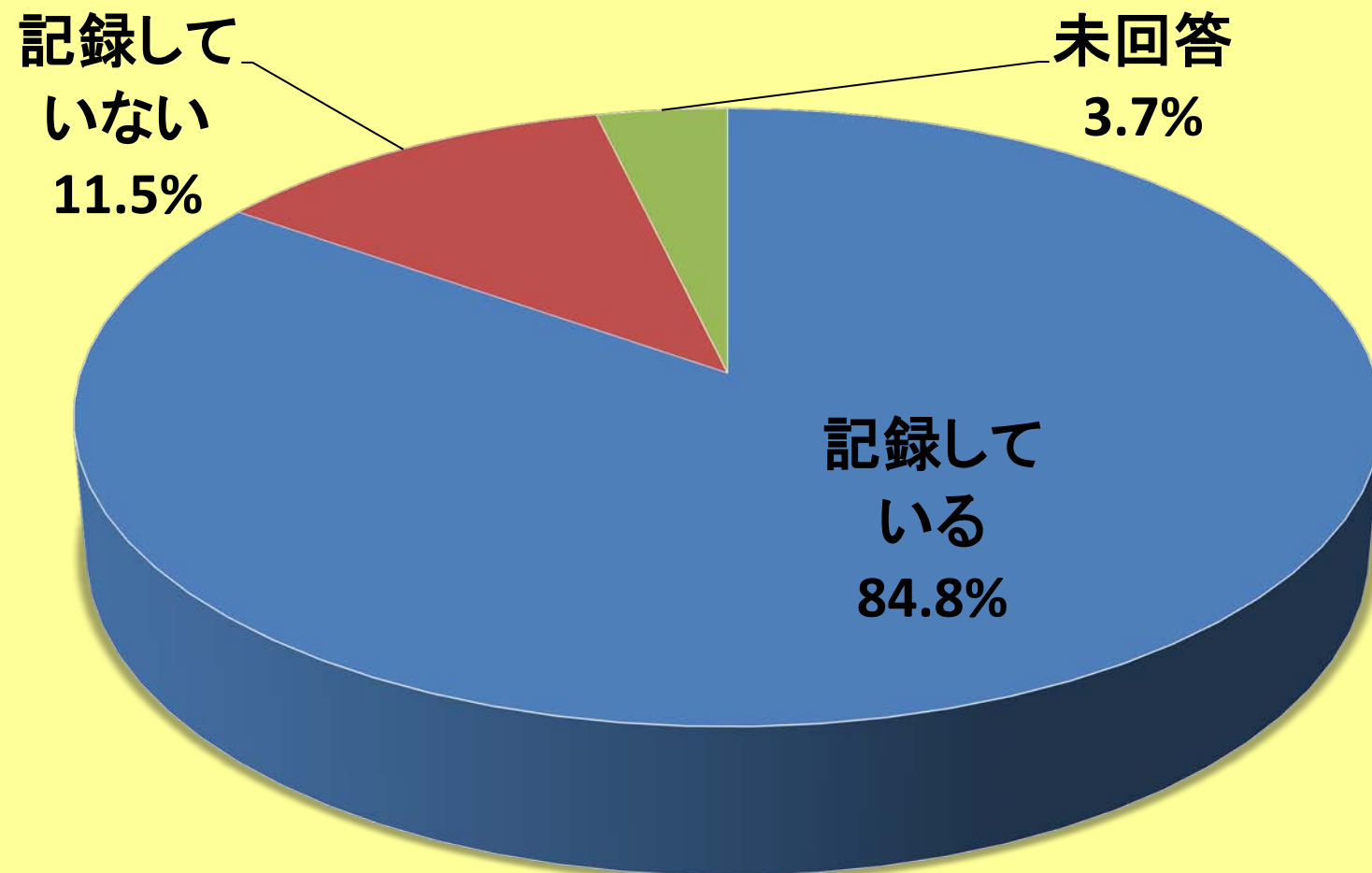
N=269	実数	比率
記録している	213	79.2%
記録していない	45	16.7%
未回答	11	4.1%



結果4ー②

チューブ挿入時に記録をしている内容：挿入した長さ

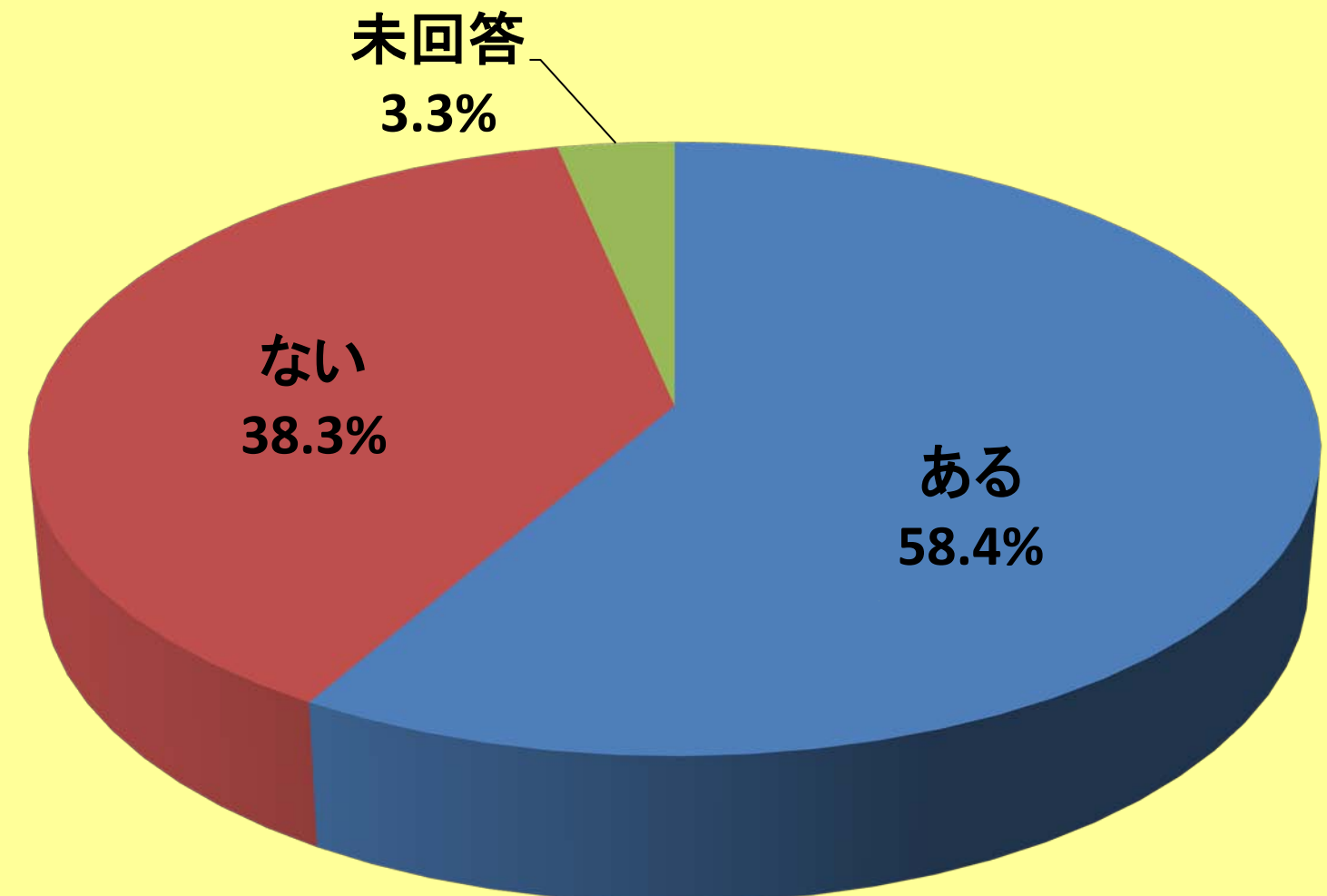
N=269	実数	比率
記録している	228	84.8%
記録していない	31	11.5%
未回答	10	3.7%



結果5

チューブ挿入のトラブルや事故の経験の有無

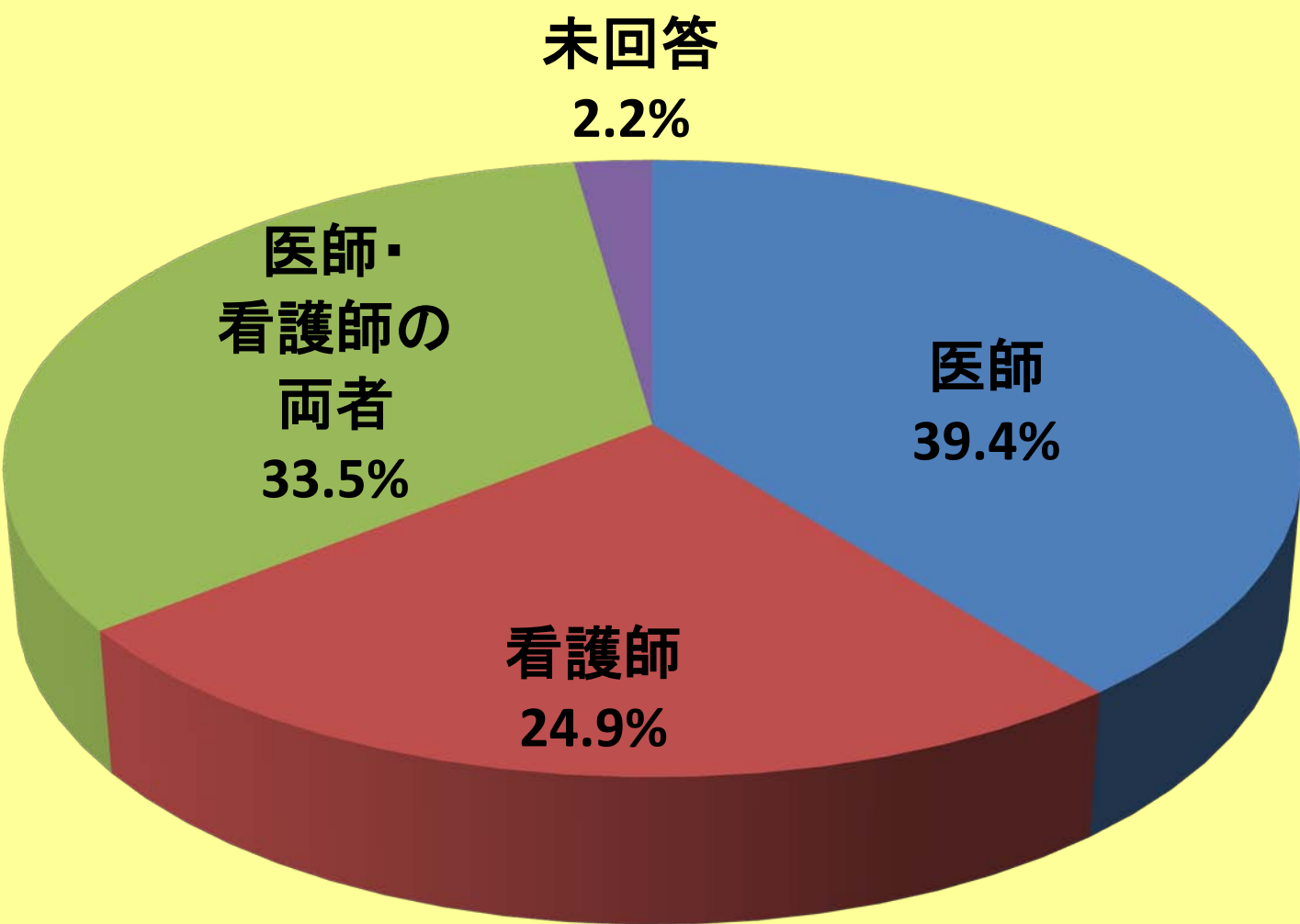
N=269	実数	比率
ある	157	58.4%
ない	103	38.3%
未回答	9	3.3%



結果6

チューブ挿入者

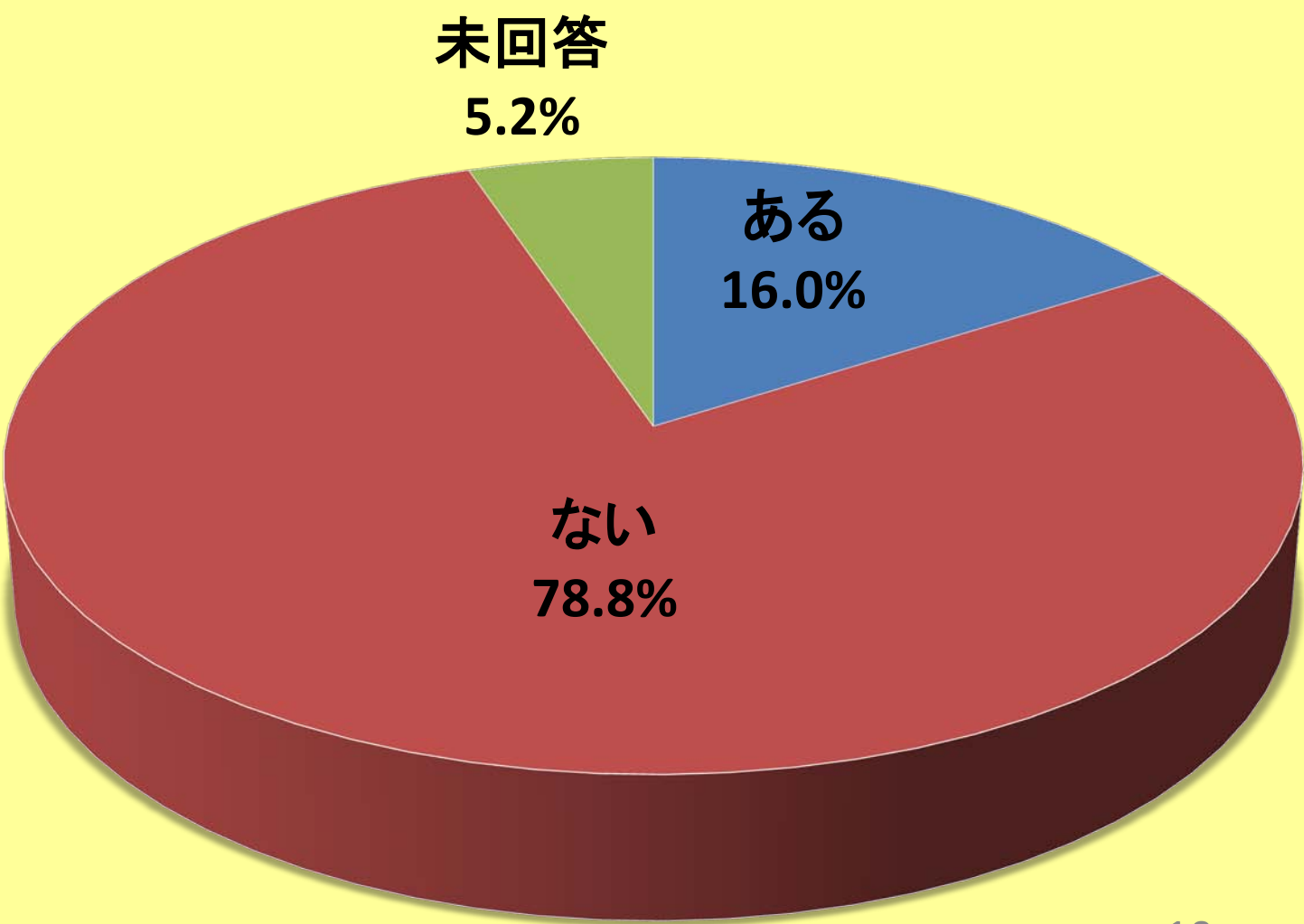
N=269	実数	比率
医師	106	39.4%
看護師	67	24.9%
医師・看護師の両者	90	33.5%
未回答	6	2.2%



結果7

患者・家族への承諾書の有無

N=269	実数	比率
ある	43	16.0%
ない	212	78.8%
未回答	14	5.2%



考 察

チューブ挿入時の位置の確認方法として「聴診による気泡音の確認」「吸引液の観察」は、多くの医療機関で実施されていた。しかし、この2つの確認が行われていてもチューブ誤挿入事故は発生している為、「レントゲン撮影」「吸引液のpH確認」「CO₂検知器による確認」の何れかの確認方法を追加していくように、今後も周知していく必要性が示唆された。